

事前のお知らせ



VRと実践訓練で水害に備える!

～平成30年度 練馬区・第十消防方面合同総合水防訓練を実施します～

と き	5月19日(土) 午前10時から正午
と ころ	都立城北中央公園都民の森(氷川台1-8)

区は、19日、都立城北中央公園(氷川台1丁目)で、第十消防方面本部との合同総合水防訓練を実施します。

これから迎える梅雨や台風シーズン、突発的なゲリラ豪雨に備えて、訓練を通じて災害対応力の向上を図ります。区民や防災関係機関など約1,000人が参加します。

土のう積みなどの浸水防止訓練や、浸水した家屋からの救出訓練などの実践訓練をはじめ、今年、東京消防庁が導入したVR防災体験車が初登場します。バーチャルリアリティーによる本物さながらの映像や振動により、臨場感あふれる災害疑似体験が可能です。

このほか、熊本地震や東日本大震災を再現した揺れを体感できる起震車体験、はしご車の搭乗、白バイ展示、ミニ防火衣の着用、防災関係機関によるブースなど、ファミリーで楽しみながら防災を学べる内容です。

区の担当者は「当日ご来場いただいた方が、楽しみながら防災について学んでいただき、いつ来るかわからない災害に備えていただけたらと思います」と話しています。



▲昨年の様子(土のう作り)

【 訓練の内容 】

① 身近なものを使った水防訓練

区民が、家庭にあるビニール袋やブルーシートなど身近なものを使って浸水を防止します。

② 土のう積み訓練

区職員や消防団などが、河川の氾濫に備えて、土のう積みなど様々な浸水防止工法を行います。

③ 避難誘導訓練

区からの避難勧告に基づいて、区職員や警察官が広報し、区民を避難所まで誘導します。

④ 浸水家屋からの救助訓練

浸水した住宅に人が取り残されたという想定で、消防の救助隊が救助を行います。



▲昨年の様子(浸水防止訓練)

【 関係機関の展示・体験コーナーも充実。風水害への対策をPR 】

実践的な訓練以外にも、はしご車の搭乗やVR防災体験車、起震車体験、白バイの展示、ミニ防火衣の着用、バッテリーカー運転体験、消防署・警察署のマスコットキャラクターのグリーティングなど、大人から子どもまで、楽しみながら参加できる内容です。

【 関係機関・参加団体 】

練馬区・第十消防方面本部・消防署・警察署・消防団・東京消防庁災害時支援ボランティア・東京都下水道局・練馬土木協会・東京土建練馬支部・東京ガス株式会社・東京電力パワーグリッド株式会社・東京都電気工事工業組合練馬地区本部城北中央公園サービスセンター・区民(町会・自治会・防災会・一般参加など)



▲VR防災体験車(イメージ)